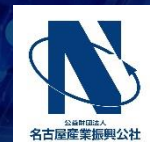




ドローンで新たな風を

東海エアサービス株式会社

業種 業務用ドローンによる撮影、測量
 代表 國本洋輔
 住所 名古屋市名東区植園町 1-9-3
 LM1205



・事業者の概要

同社は2020年3月に創業。業務用ドローンを活用したサービス提供に高い専門性を有している。航空写真の撮影・編集・企画・運営、IoT・iConstruction・BIM・5G 連携システム導入のコンサルタント事業、各種インフラ点検事業（発電施設点検、橋脚点検、ソーラーパネル点検）、業務用ドローンの操作講習、業務用ドローンの開発・販売・保守メンテナンス、業務用ドローンのリース事業等、主として企業向けのサービスを行っている。

・表面化している課題

ドローンの活用には多様性があり、専門的な分野での活用は進みつつあるが、まだ一般的にはなじみのないものであり、趣味としての玩具ドローンの利用にとどまっている。今後ドローン事業がもっと普及していくためには、活用の用途や場所を広げることが重要である。また一方現在同社で進めている企業向けの事業においては、単発的な仕事依頼が多く、業務量のバランスに課題があった。そのため、仕事の総量を増やして事業バランスを取る必要があった。

・支援者の分析と判断

ドローン事業はその活用範囲は広いものの、まだ専門的な分野での活用には取れんされている。またドローン操縦者は資格取得もあり、年々増えているものの、その操縦者が仕事として能力を発揮できる場もかなり限定的であるとわかった。

ドローン操縦者を抱え込むこと、多様なニーズを創出することを融合させる、新たな事業の可能性について検討を進めてきた。

相談時の様子



新サービス「そらパシャ」



事業者さんの声

ドローン事業の敷居を下げる新規ビジネスが構築できた。記者にも大きな興味と感心を持ってもらい本事業の可能性が実感できた。

当面は個人向けの小さな事業であるものの、本サービスの全国拡大に向けて大きな一歩となった。また本業への波及効果も期待できる。

・課題解決への提案

ドローンビジネスがFC化できないかと考える一方で、今後のニーズ拡大を考えると、良質な操縦者をパートナーとして確保するべきと考えた。低価格かつ一般向けの事業として、空から写真を撮るサービスメニュー、これとパートナー募集を一体化して事業化することを提案した。「そらパシャ」は需要と供給のマッチングを検討する中で生まれた。

・実行内容

名古屋経済記者クラブにて、令和5年10月17日プレスリリース記者発表を実施した。（提供資料は右の通り）

中日新聞に掲載されました

(令和5年10月18日朝刊)

記者クラブ提供資料



・成果と今後の進め方

プレスリリース前よりテレビ局の問合せもあり、記者発表では記者からの熱心な質問を受け、本事業の関心の高さを感じることができた。今後の反応を見ながら事業展開を進めていく。

(公財)名古屋産業振興公社 名古屋市新事業支援センター

〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名古屋市中小企業振興会館5階 TEL:052-735-0808 FAX:(052)735-2065

無料の
窓口相談

右の二次元コードリンク先の申込フォームページから必要事項を入力し、お申し込みください
<https://ws.formzu.net/dist/S27720287/>

